

名古屋学院大学同窓会会報

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

第4号 ('93.10)

名古屋学院大学同窓会事務局発行
愛知県瀬戸市上品野町1350
TEL 0561-42-0999(直通)

第一回外国語学部卒業生を迎える

同窓生総数二〇、五二九名!

一九九二年度卒業証書・学位記授与式が去る三月二五日(月)本学栄光館において挙行され、経済学部経済学科四八四名、同商学科三四九名、外国語学部英米語学科一五一名、同中国語学科五四名、留学生別科四名、合計一、〇四二名が新たに巣立ちました。

今回は外国語学部から初めての卒業生を送ることもあって、女子学生が

特別寄稿

第一回外国語学部卒業生に寄せる

外国語学部長 佐藤自郎

頼りになるのは同窓生



英米語学科一五一名、中国語学科五四名の諸君は外国語学部の第一回の卒業生として本年三月勇躍社会に巣立っていきま

ました。四年前開設されたばかりの学部に入學し、先輩である経済学部の、そしてまた新設の商学部の学生諸君にまじって勉学した日々は、いつまでも諸君の心に貴重な思い出として

多く、これまでにない華やかな卒業式となりました。式の終了後には、それぞれの所属ゼミに分かれ、恩師とともに別れを惜しまました。

大学同窓会は、今回の卒業生を迎え、二〇、五二九名に達しました。

第一回外国語学部卒業生を迎えるにあたって、外国語学部長、佐藤自郎先生に特別に寄稿をお願いしました。

残っていくことと思います。この第一回の卒業生が社会においてどう評価されるかが、今後の名古屋学院大学外国語学部の評価を決定することになるという意味で、その活躍が後輩達にとっても重要なものとなってくるわけです。

ところで、大学で勉強したという事は、どういうことなのでしょう。いまさら何を、それぞれの専門科目の勉強したことに決まっているのではないかと、言うかもしれません。そのとおりです。英米語学科の学生諸君が英語の勉強に精を出し、中国語学科の諸君が中国語の勉強に励んだことは当然のことです。でもそれだけでいいか。英語、中国語の力を付けることだけがその目標であるならば、大学では

なくて、語学だけを朝から晩まで教える機関で勉強するほうが、もっと効率があがったのではないのでしょうか。大学は単に知識を詰め込むところではなくて、人格を形成する所でもあるからです。社会において自分の判断で周囲に、社会に責任のある行動ができる人間を作り上げるのが大学であると私は思います。一見専門とは関係がないような科目を学ぶようになってくるの



ることはわかります。しかし、その反面多くの会社が四年制の学生を採用するのも、単なる語学力、聞く、話す、読むという技術的な力ではなく、幅広い視野のもとに物事を大局から判断できる人間の将来の可能性を考えているからだと思います。本当の意味での語学力は、このような幅広い勉学の裏付けがあって初めて身につくものだと思います。諸君にとっては、これからが大切です、頑張ってください。私も新しい卒業生を送り出した四月から、カリキュラムを検討しなおしました。真の教育の成果を上げる努力こそ私どもの責任であると考えるからです。

も、クラブ活動が組み込まれているのもこのためです。英米語学科の学生が社会学、哲学などはもとより、自然科学系の勉強もできるようにしているのも、将来の可能性を持った、幅のある人になってもらうためだったので、よく会社、企業は即戦力になる学生が欲しいのだ、と言うことを聞きま

「敬神愛人」の建学の精神に基づく本学で四年間学んだことを誇りに自信を持ち、胸を張って社会を逞しく生きていくって欲しいと思います。とはいえ、最初の卒業生の歩む道が決して平坦なものではないことは、同じような経験をした私にもよくわかります。多数の卒業生を持つ人達と比べると、普通の努力では世間は認めてくれないのが普通です。認めてもらうためには、この人達の二倍の努力が必要です。苦しい道において頼りになるのは、先輩の経済学部の同窓生達だと思います。彼らに助言を求め、後輩のことを思い、やがて加わる商学部の卒業生とともに、名古屋学院大学の同窓生の固い絆のもと、一歩一歩輝かしい歴史と伝統を築き上げていってください。

外国語学部第一

四

年前、新設された外国語学部の一期生として、若い学生と共に入学式に臨んだのはついこの間のことのように思えます。

頃には専門科目の講義も多くなり、楽しんで授業を受ける余裕もできませんでした。本学には、中国関係の各分野の優れた先生方がおられ、何かと適切なアドバイスもいただき、私にとって大変有意義な学生生活を送れたということができません。

今、私は卒業するに当たり、これまで大学という温室の中での受け身の姿勢から、学んだものを活用する時がきたのだと思います。入学前には「中国語の教師になりたい」とも考えていました。人々に中国語を教えることで自身も又向上を図るというのも一つの方法と言えますが、大学で学んだ知識と、ポランテニア通訳の経験を活かして、中国語のガイド試験に挑戦することを次の目標にしたいと考えています。目標を高く置き努力することは励みにもなり、

振り返ってみますと、私が社会人学生として入学が決まった時、三〇数年のプランクに對するいくらかの不安がありました。しかしそれにもまして、年齢の枠を越えて学ことができる喜びの方が溢れています。ただ、授業が始まってみると自分の力に余る科目も多くついていけるかどうか深刻に悩み、何度か「学生相談室」の前でこの悩みを聞いていただくかと考えたこともありました。

私が在籍した中国語学科は、少人数ということもあり、よくまとまっていた。特に二年の終わり、中国へ短期留学してから学生同士がより親しみを増したようであり、主婦学生の私も自然に融け込める温かい雰囲気がありました。お陰で思いもかけず若い学生と同じように大学祭や、コンバにも楽しく参加することができました。主婦が大学生活を送ることは確かに大変なことであり、時間的にも又経済的にも負担が大きく困難もあります。しかし、若い世代と

で趣味として中国語を学ぶのではなく、学問としての中国語を学び、その奥の深さを再認識することができました。できればこれからも社会人学生にどんどん入学していただき、この楽しさを知り、又向上もしていただきたいと思っ

主婦の生活と学生生活とのギャップにとまどい、慣れるのに多少の時間はかかりましたが焦らずマイペースを心掛けています。当初の気負いと孤独感は徐々に薄れていきました。そしてこの

これからも続く中国語の学習



外国語学部中国語学科 中野村 易子
易子 易子
中野村 易子
易子 易子
中野村 易子
易子 易子

は異なる目的意識を持って学ぶことは、現代の社会に生きる主婦にとつて意義ある生き方の一つと言えると思います。私自身この大学

☆野村さんは、社会人学生として入学され、優秀な成績で卒業されました。

地域を代表する総合大学にむけて

学長 西村 島夫



一九八七年に名古屋英和学校に始まる名古屋学院を母体として誕生した本学は、来年開学三〇周年を迎えます。

その間組織としての危機を迎えたこともありますが、関係各位の多大な努力と「敬神愛人」を建学の精神として発展してきた本学を守らなければならぬという使命感で、安定と繁栄の道を歩んでいる今日を迎えることができました。

一九八九年の外国語学部の発足、一九九二年の商学部の設置というように、皆さんの母校は大きく歩み続けています。この地方でもその優れた内容によって、国内はもとより国際的にも高い評価を受けている留学生別科を軸にして、外国語学部をはじめ各学部は国際化の要諦に込めるべく、海外の二〇以上の大学と交換計画を結んで、大きな成果をあげていま

す。

大学の母体となった経済学部は酒井学部長のもとに英語に強い国際経済人の養成をめざして、学部の整備と充実がはかられています。し、外国語を通じて異文化とのコミュニケーションを案々と実施できる国際文化人を養成する外国語学部は、佐藤学部長のもとに今年初めての卒業生を出しました。情報教育に画期的な試みを行ない、国際経営の場でも通用するビジネスマンを育てようとしている商学部は、小嶋学部長のもとに清新の気風がみなぎっています。

皆さんの後輩も見事に育っています。昨年十二月三日から二十五日にかけて、第三九回日本学生経済ゼミナール名古屋大会が本学を主催校として開催され、三八〇〇名の学生が全国から集まって大成功でした。

同窓会と同窓生は本学の最大の財産です。同窓生の皆さんが、各界で活躍され、それを束ねている同窓会が加藤末男会長はじめ幹部の皆さんや会員のご協力で、基礎を固めていかれるのは最大の喜びです。さあ一緒に頑張って、素晴らしい名古屋学院大学を創りましょう。



第四回ホームカミングデー
一九九二年度総会報告



第4回ホームカミングデー
主催 名古屋学院大学同窓会 共催 学校法人名古屋学院大学

一九九二年十一月三日、恒例となりまして、一九九二年度総会が、希望館第4会議室にて開催されました。会長あいさつ、学長あいさつにつづいて、以下の議事が審議され承認されました。

- ・同窓会会則について
- ・役員承認について

また、一九九一年度の活動報告、同会計報告等についても併せて報告がありました。ホームカミングデーは、総会のあと、思星館にて盛大に行われました。当日は天候にも恵まれ、各地から集まったOBとその家族、教職員ら約三〇〇名が旧交を深めました。加藤会長、横井理事長、西村学長らのあいさつにつづいて、名古屋ワイル

ハーモニのメンバーによる弦楽四重奏が館内に響きわたり、宴を盛り上げてくれました。

図書館に専用コンピュータ
オンラインで楽々

本 図書館は、情報発進基地としてこれまでさまざまな内外のデータベースを提供してきました。情報化の流れの中で一九九二年度は、本学図書館にとって画期的な年となりました。図書館専用機として日本DEC社のミニコンが設置され、館内の端末をネットワークで結んだのです。そして、トータルに図書館サービスを展開するために、CALISシステムが導入されました。

貸出手続きは、今年度四月より学生証の磁気データと帯出図書のパコードを読み



取るだけというスピーディーな処理に変わりました。六月、七月と試験シーズンの到来とともに、端末は常に熱心な学生たちが占め、レポートのテーマを自由に検索しています。蔵書検索と貸出手続きという、図書館利用にとって一番わずらわしかった部分が、導入決定後、わずか一年でシステム化されたことは、大変ラッキーでした。

今後は、数年計画で徐々にトータルシステムを完成させていきます。例えば、蔵書検索については、全蔵書データを品質の高いものに置き換えていきます。また、発注中の図書情報についてもリアルタイムで検索

索端末に表示されるでしょう。その本が必要な場合は、その場ですぐに予約をかけることもできます。

これから、どんどん変貌する図書館です。家庭や職場で学術的な資料・情報が必要になった時、学生時代と同じように気軽にご利用ください。きっとお役に立てると思います。

(図書館課長補佐 伊藤貞理子)

開館時間 九時一五分～一七時

月、金曜日

TEL〇五六一―四二一〇三五二

FAX〇五六一―四二一〇二五二

文化の日 家族そろっておいで下さい

(立食パーティー・無料)

第五回ホームカミングデーご案内

(大学祭期間中)

日時 十一月三日(祝日) 十二時～十四時

場所 名古屋学院大学思星館(第二食堂)

プログラム

コンサート

景品抽選会 他

名古屋学院大学同窓会総会

日時 十一月三日(祝日) 十一時～十二時

場所 名古屋学院大学第三会議室(希望館)

同封のハガキにて出欠をお知らせ下さい

NGU Now

厳しい状況の続く 今年の就職戦線

三月頃には、「ようやく、かすかにトンネルの出口が見えてきたように思われる」との発言があらこちで聞かれましたが、再び経済は霧の中に閉じ込められてしまいました。

一月中旬から、学生は多くの資料請求を企業宛に始めました(昨年の二倍、一昨年の四倍)が、企業では、採用計画が全く立っていないケースが多く見られ、中には採用経費の削減も加わり、請求に応じた資料作成が出来ない企業も続出し、女子については資料請求に全く対応してもらえない者も出る有様でした。

一方では、学生の就職活動への関心は、今までになく強く、三年次の一〇月から始められた就職ガイダンスへの参加者も従来よりも多く熱心でした。

企業研究も従来に比べ、業種を広げ、レベルも広げて行なうよう指導してきましたが、このことが逆に、手を広げ過ぎて、面

接での他社への応募状況、志望動機を説明する際のつまづきに成るケースも生じました。

また企業サイドでは、多数の応募者を抱えたため、常識試験での足切り、面接回数増加、前年度の「内定取消し騒動」から、歩留まりを考えた採用をしない、等によって、従来に比べて採用内定の声がなかなか出ないという、学生にとり、前年度に増して厳しい年となりました。

他方、多くの学生が多数の企業を訪問しているため、一部の学生はかえっていくつもの重複内定を抱かえるという状況も起こっており、調整には尚時間を要すると思われる。

先行き不安な経済状況の中では、特に、先輩の有無が企業選びの基準の中で大きなウエイトを持っており、OB訪問も真剣に行なわれています。また女子を中心として、さらに就職活動が継続すると思われるので、同窓諸氏の御援助、採用情報の提供をお願い致します。

就職

外国語学部第一回生 卒業と就職戦線

九二年度は、増設された外国語学部での初めての卒業を迎えた年であり、どんな方向へ就職して行くかが、期待、注目された年でありました。

しかし、同時に、バブル経済の崩壊に端を発した景気の落ち込みは、オイルショック以来の深刻なものとして就職戦線をも直撃しました。特に四大女子にとって最大の大量採用業種である銀行・証券・情報処理が最も深刻な影響を受けた業種となりました。

一学年千人体制の中で、女子が二、三〇人しかいなかった同窓生



諸氏にとっては思いもよらないことでしょうが、外国語学部の定員二〇〇名の半数が女子学生



と

は、大手企業を中心に、雇用機会均等法による「女子総合職」の意味を見直そうとしていた時期とバブル崩壊の複合は、就職活動には大きな重荷となりました。

これに加えて、就職協定の変更が行なわれ、採用活動は、「前年に比べて約一カ月早くなり、厳しい選考が行なわれる」と予想され、どの大学でも「一月末から従来の先輩の二倍以上の活動をするよう」に指導が行なわれました。この指導の徹底と大手企業の手想い以上の採用手控えにより、中堅企業にも求職者が殺到し、就職活動は更に厳しいものとなりました。

しかし、最終的には、男女共

●学科別就職決定状況

学科	経済学科	商学科	英米語学科	中国語学科	合計
1993年3月卒業生数	484	349	151	54	1038
就職希望登録者(A)	462	323	136	47	968
就職決定者数(B)	462	323	132	46	963
就職決定率A/B	100	100	97.1	97.9	99.5

に、まずまず満足の出来る結果となり、男子は勿論、苦戦した女子についても、最後まで就職を希望して頑張ったものについては、一〇〇パーセントが就職を決定しました。

年々希望者の増加している公務員についても、夏期・春期の特別講座参加者を中心として合格者が増加しており、外国語学部生を中心に教員採用試験合格者も増加しました。

(学生サービスセンター次長
山田直義)

脱サラして
ペンション経営



最近ではペンションとマンションを混同する人も少なくなくなってきています。それだけペンションも宿泊施設の一形態として認識されつつあると言う事なのでしようか。

私も昭和四六年に母校を卒業し地元、名古屋の新聞社に一年間、勤務していましたが、自然の中で暮らす夢が捨て切れず五七年春に退社し、八ヶ岳 山麓の山梨県大泉村でペンション

OB
短信

ン「ほいっほ」を開業しました。
何しろサラリーマン生活から一八〇度の転換でしたので独立できる嬉しさと同時に多少の不安もありました。知り合いの方の紹介で僅か二ヶ月程度ではありましたが名古屋のレストランで馴れない調理の勉強をさせて頂いたことも今では楽しい思い出です。

開業当時は、ブームでもあり、又目新しさも手伝ってか予想以上の宿泊客に恵まれ、三四年後には、なんとか経営も軌道に乗りました。その間、幾度となく宿泊客の方々からも「自分もやってみたいのだが」といった相談を受けサラリーマンの方々にも根強い転職志向があるんだなと感じたりもしたものです。

ある時なと妻の知人から「突然、部下がペンションをやりたいので、と辞表をもつてきて、当惑している。木人とそちらに意向かせるので、とにかく話を聞いてやって欲しい」との電話を受けました。やって来た本人の話を総合して感じたことは夢と憧れが先行して

「少々危なっかしいな」といったものでした。
一晩かけて断念するよう本人を説得し、後日、上司の方から大変感謝されたりしたものです。とかく外から観ると華やかで面白そうに思われる職業ですが、携わって見ると他人に言えない苦労があるのも事実です。

家族的サービスと低料金が売り物のペンションですが現在では名古屋市役所、日本道路公団、愛知県農協連などの指定も受け利用客層も若年層から家族連れへと拡がりを見せています。
一歩ずつ「一歩一歩」のんびりと歩き続けている昨今です。

(鈴木智 七一年卒)
☆「ほいっほ」の連絡先
山梨県北巨摩郡大泉村
〇五五一一二八八三二五



三重支部
昨年一月二十九日、三重支部設立総会が津都ホテル

にて開催されました。当日は三重各地から一六名、大学から笠原法人局長、同窓会本部より加藤会長、富田副会長、中野事務局長が参加して、盛大に催されました。笠原局長からは大学の現況の説明などがあり、その後将来の母校の発展のための同窓会の活動等が真剣に話し合われました。

今後の三重支部の活動運営で、支部長に稲垣氏を選出し、次回の会合を榊原温泉で開催する事を決めて散会致しました。今後三重支部は、強い同窓生のパワーで他大学並みに大学諸活動を同窓会のバックアップのできる日も近いことでしょう。

(中野隆白 七一年卒)
関東支部
七月二二日(土)、初めて関東地区同窓会が開催され、一期生から二八期生まで約二〇名の同窓生が集いました。久しぶりの再会に、参加者はいずれも感激の面持ちで旧交を温めました。

て報告があり、同窓生有志による講演と参加者全員の自己紹介により、お互いの社会での活躍ぶりを知る事ができました。
(小松照幸 六九年卒)

☆支部の連絡先は
事務局だよりに掲載

成果を上げる
国際交流プログラム

外国語学部と留学生別科が設置されて、はや五年目になります。この四年間大学キャンパスの整備は見違えるほど進み、今やたいへん立派な大学へと変貌しつつあります。

大学の国際交流は目覚ましいスピードで進み、教育の成果をあげています。海外の提携校はアメリカを中心に、オーストラリア、中国と提携は二〇校近くに及び、この数は全国でもトップレベルに達しております。海外への留学生派遣も、短期留学では、二〇〇名を超え、長期留学では四〇名以上が、懸命に学習し

ています。
他方、諸外国から受け入れ留学生も飛躍的に増えました。この秋からは一〇〇国三七名となり、欧米の留学生受け入れ数としては、中部地方では、南山大学の次に多い数になりました。

これらの留学生は、一留学生別科一で受け入れ、日本語及び日本文化・社会について、日々真摯に学んでいます。
今後は、海外の大学からも大きな信頼を持たれる日本研究プログラムとして、より一層教育内容の充実を計ります。また留学生のためのホームステイ家庭の募集や、国際交流基金づくり力を注いでいきます。

(留学生別科)
小松照幸 六九年卒



恩師の

近況

名 古 屋 学 院
大 学 に 赴 任 し た 年
古 屋 学 院

○ 年) から 早

くも一七年間が 過ぎようとしてい
る。赴任したときにはまだまだ青年期だっ
た筆者も、いつのまにか天王寺の変の折の
織田信長とはほぼ同じ年齢になってしまっ
た。「人生五〇年」のその年に

経済学部教授 生越達美先生より

あと数年を数えるしかない。こ
の一七年間、沢山の卒業生を送
り出したし、仕事も少しはする
ことができたと思う。しかし満
足感が十分にあるか、と問われ
ると、たちまち答えに窮してし
まいそうである。無駄なことも
沢山してきた。しかし、後悔の
念は不思議に起きてこない。こ
の二〇年間に世界も、日本も大
きく変わってきている。学生諸
君の気質の上の変貌にも、大き
なものがある。欠点も目につく
が、良い点 も豊か

春

に育っている。青
の輝きという
ものはダイヤ
モンドの輝き
へと、磨きあ
げていって欲
しいと願う今日
この頃である。



1993年度入試結果

八六年度から七年前続いた受験人口増のピークを超えた九三年度入試では、本学の総志願者数は九、五三六名となり、前年比三〇パーセントの減少となりました。

学部別では、全国的に経済・商・経営系の志願者減が予測されたなか、本学経済学部の一般入試は前年比二三パーセント減の結果となり、商学部においては前年の大幅志願者増の反動により、実に五〇パーセント減という大変動の様相を示しました。

一方、外国語学部の一般入試は、志願者数において英米語で二二パーセント減、中国語で二六パーセント増の対照的な結果となりました。英米語では受験生のレベルアップがつついたことへの反動が二年連続の志願者減に現われ、逆に中国語においては一時冷えていた中国に対するイメージが回復基調にあること、また今年より大阪、東京に試験場を開設したことが増加原因にあげられます。

なお、一般試験の競争倍率は、経済学部四・六倍、商学部四・四倍、外国語学部の英米語が三・九倍、中国語五・四倍という結果になりました。

1994年度入試要項

●募集定員

学部	学科	定員
経済学部	経済学科	450名
商学部	商学科	300名
外国語学部	英米語学科	150名
	中国語学科	50名

●一般推薦試験

学部	学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日
経済	経済	11月4日(木)～ 11月7日(水)	11月27日 (土)	本学	12月7日 (火)
商	商				

●一般試験

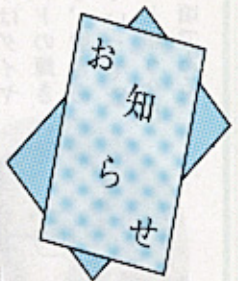
学部	学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日
経済	経済	1月8日(土)～ 1月24日(月)	2月1日(火)	本学、浜松、津、金沢、 岡山、福岡、東京、大 阪、豊橋、	2月15日(火)
商	商		2月2日(水)		
外国語	英米語		2月4日(金)	本学、浜松、津、金沢、 岡山、福岡、東京、大阪	2月16日(水)
	中国語		2月5日(土)		

詳細については入試課へお問い合わせ下さい。☎0561-42-0339

活躍する後輩達の成果

- (アーチェリー部)
 - 東海学生アーチェリーリーグ出場
 - アーチェリー2部リーグ対抗試合 6位
- (ウェイトトレーニング部)
 - 中部学生パワーリフティング選手権大会 団体優勝
 - 全日本学生パワーリフティング選手権大会出場
 - 中部学生秋季パワーリフティング選手権大会 団体優勝
 - (新人戦の部) 団体優勝
- (空手道部)
 - 春季東海地区大学空手道選手権大会 団体3位
 - 秋季東海地区大学空手道選手権大会 団体3位
- (剣道部)
 - 全日本基督教関係大学剣道大会 団体4位 個人戦2位、8位
- (ゴルフ部)
 - 中部学生ゴルフ春季リーグ戦 1部リーグ3位
 - 中部学生ゴルフ新人戦 5位
 - 全日本学生ゴルフ選手権出場
- (硬式野球部)
 - 秋季リーグ戦2部優勝
- (サッカー部)
 - 東海大学サッカー対抗戦 準決勝進出
- (少林寺拳法部)
 - 東海学生少林寺拳法大会 最優秀 後秀賞
- (自動車部)
 - 全中部学生自動車競技新鋭技大会 新人戦 団体3位 中京戦 団体優勝
- (柔道部)
 - 東海学生柔道優勝大会 1部Cブロック2位
- (準硬式野球部)
 - 春季リーグ戦 2部リーグ1位 1部昇格
- (スキー部)
 - 中部日本学生スキー選手権大会 女子 団体2位
- (水泳部)
 - 中部学生水泳選手権 水球の部 1位
- (日本拳法部)
 - 中部学生拳法新人戦 2位
- (ボクシング部)
 - 中部学生ボクシング新人大会 団体1位 最優秀新人賞
- (ヨット部)
 - 春季中部私学戦 団体5位
- (ラグビー部)
 - 東海学生リーグ戦 C1リーグ 3位
- (陸上部)
 - 東海学生春季陸上競技選手権大会 砲丸投げ 3位 円盤投げ 4位

大学創立30周年を記念して「会員名簿」と「大学創立30周年記念誌」の準備が進められています。ご希望の方に頒布する予定です。同封の返信用葉書にてお申し込みください。



- 会員名簿**
 - ・大学同窓会発行
 - ・1994年発行予定
 - ・価格未定

☆会員名簿の広告について
会員の皆さんから広告を募り、掲載したいと思っておりますので、ぜひお申し出ください。

- 名古屋学院大学創立30周年記念誌**
 - ・大学発行
 - ・1994年発行予定
 - ・価格は5000円、約600ページの予定です。

事務局だより

◆年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもりため、同窓会ネットワークを充実させるためには、ぜひしっかりとした財源が必要となります。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のご振込をお願いいたします。

- 年会費 一口二、〇〇〇円

◆支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催いたします。お問い合わせは下記へお願いします。

- 関西支部**
大阪市生野区生野一―一三七
中川博嗣(六八年卒)
☎〇六―七二―一三五七四
(中川登記測量事務所内)
- 三重支部**
三重県三重郡朝日町柿二二六九

●関東支部

- 関東支部**
東京都世田谷区野沢四―八―八
小松照幸(六九年卒)
☎〇三―三四―二二―三三四三

◆マッキントッシュを導入

七月には会報・名簿の編集に話題のアップル社の通称マック、セントリス650CD-ROM付を導入しました。今回発行しました会報はこのパソコン(ソフトはページメーカー)を使った処女作です。まだソフトを十分使いこなしていませんが、今後研修を重ねて同窓生に親しまれる会報等の編集に心がけたいとスタッフ一同努力します。よろしくお願ひします。

◆同窓会室開室

月々金 九時三〇分～一六時三〇分
直通電話(FAX兼用)
〇五六―一四二―〇九九九
最近、電話による同窓生の住所・電話番号のお問い合わせがありますが、

プライバシー保護の関係で本人確認ができないとお断りすることもあります。原則として同窓会から電話によるお問い合わせもいたしていません。

◆新スタッフ

事務局スタッフとして三年間務めた牧野さんは三月で退職され、後任として四月より二名が勤めています。



編集後記

皆さんの職場に外国語学部第一回卒業生が配属されたかもしれませぬ。彼らは、同窓生二〇、五三九名の中の二〇五名です。しかし、本学同窓会の新しい芽でもあります。佐藤先生が言われるとおり、頼りになるのは同窓生です。OBが力を合わせれば、小さな芽を大きく育てることが出来ます。三年後には、商学部卒業生を迎え、同窓会のネットワークはさらに広がります。今後の同窓会活動にご注目ください。